

一宮市6次産業化・地産地消推進計画【第3期】 市民意見提出制度に寄せられた意見と市の考え方

●募集期間: 令和5年12月28日～令和6年1月31日

●提出件数: 6件(5人)

番号	意見概要	市の考え方
1	<p>新規就農者への補助金や作物の買取制度を充実させてほしい。 また、「農薬や化学肥料に頼らない野菜作りや残飯や間伐材等を有効活用する事でゴミも削減できる」などで知られる菌ちゃん先生こと吉田俊道さんの農業は、今後の地産地消を考える上で参考になると思うので取り入れてほしい。</p>	<p>新規就農者に対しては、国に就農前の研修を後押しする資金や就農直後の経営の確立を支援する資金、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入を支援する制度等がございます。市独自でもP14の施策①「新規就農者や後継者の育成 具体的な事業(2)」に掲載しております支援を行ってまいります。 また、市では地球温暖化防止など環境保全に効果の高い営農活動を行う農業者団体等への支援としてP17の施策⑤「環境に配慮する農業の推進」に掲載しております環境保全型農業直接支払交付金事業を実施しております。計画の数値目標である取組面積8haを達成できるよう今後も推進してまいります。 頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>一宮市内のお寺の住職であるが、一市民として今回の素案について意見を述べる。 6次産業化を推進するためには、人と人のつながりと持続可能な活動の充実が大切な要素になり、大いにお寺の活動とリンクする部分がある。 地産地消と地域の結びつきをより強固にしていくことが今回の取り組みにおいて重要な点であり、地域の活動を繋げる為にもお寺を利用することを提案する。 ①1次産業の活性化の為、檀家さんの中で不活動農地を所有する人に、そこを利用して農業に従事したい人を斡旋する。 ②3次産業の促進の為、お寺の境内地を利用して地元で作った野菜などの販売するマルシェなどを開催する。</p>	<p>6次産業化・地産地消を推進していくうえで、地域の方との結びつきは重要な要素であると考えております。頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見概要	市の考え方
3	<p>農業は私たち人間の健康と命を育んでくれる大切な産業であり、とても尊く自己肯定感が高まる仕事だと思うので、今の小中学生にも積極的に一宮市の特産品見学や体験、農家さんの話をきく機会を設けることで農業に対する関心が高まり、担い手が増えるのではないかと。また、活動を広報などに載せ、市民に身近に感じてもらう関心をもってもらうこともいいのではないかと。</p> <p>施策④について、ドローンを使って上から農薬をまくのはそれを吸う人体に影響がでないか心配であり、またゲノム編集食品や細胞培養など人為的なことは、人体や生態系にも影響がまだ危惧する意見もあるため勧めるのは不安である。</p> <p>EUでは少しでも健康に害があることは取入れないようだが、日本は明らかな健康の害がでないであろうことは勧めているようなところもあるので心配である。たとえばネオニコチノイド系農薬。たとえ表示義務がなくても消費者が分かるように商品に記載してほしい。</p> <p>安心安全で環境に負荷がかからないようにEUで使用禁止のネオニコチノイド系農薬を使わないようにしてほしい。</p>	<p>P20の施策⑦「食農教育の充実と地産地消意識の醸成」に掲載しております具体的な事業を推進し、子どもから大人まで幅広い世代の方に対して、イベントや農業体験など多様な体験機会の創出を図ってまいります。</p> <p>国は食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するために、2022年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。戦略の中で、低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減する目標を掲げております。市も戦略の方針に沿って環境負荷の軽減に配慮した農業を推進してまいります。</p>
4	<p>学校給食等での地産品の積極活用については賛同するが、スマート農業で作った食品は親にもわかるように表記、または相談して選べるようにしてほしい。</p> <p>ゲノム編集や培養肉など、明らかな健康被害がないと言われているのかもしれないが、今はアレルギーがある子どもが多くなっているのが心配である。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の参考とし、関連部署に伝えさせていただきます。</p>
5	<p>田畑だったところがソーラーパネルに変わったりしている。市が土地を買い上げて都会の人に貸し出し、出来た作物を販売するところまでをパッケージにする提案をしてはどうか。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>都市計画地域の厳格化、駅周辺や旧集落で住環境・商業・工業・物流の振興が図れるエリアの区画整理を行う。また、その周辺の農地振興エリアや耕地整理を行ったエリアに対しては農地以外の利用禁止の厳格化をする。無秩序な土地利用を制限して欲しい。</p> <p>また、計画進行中の名岐道路の開通を見越し、道の駅を兼ねたパーキングエリアを計画、そこで岐阜県を含めた隣接市町村の農産物販売所を作るのはどうか。具体的には、一宮商業高校のグラウンドを含めた周辺エリア。商業高校のグラウンドは商業高校の周辺へ、周辺環境にマッチしていない老朽化した工場の移転促進、市による代替地の斡旋、一定期間固定資産税減免で対応すれば可能性はあると思うので検討して欲しい。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、今後の参考とし、関連部署に伝えさせていただきます。</p>